

「温度計付きカードルーペ (1)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

自然の変化や、季節による生物の営みは、気温との関係が深い。このことは4年生の「季節と生き物」で扱う内容だ。しかし、3年生でも気温には関心を持っている子どもが多い。テレビの天気予報でも「今日の東京の最高気温は26℃でしょう。」と言うのをよく聞く。単に「寒い、涼しい、暖かい、暑い」といった、感覚的な表現ではなく、「気温(温度)」という物理量で測定できる、ということは、3年生の子どもにとって、大きな喜びであり、驚きと言えるだろう。

カード	月	日	天気○
年組	気温		℃
題名	場所		

これは、現在私が3年生に使わせている、観察用のカードである。大きさはA5サイズ、紙質と厚さは普通の上質紙である。画用紙でもいいのだが、かさばることと、単価が高くなるので、上質紙を使っている。これをA5用の二つ穴のバインダーに綴じさせている。カードの名称も自分で決める。子どもがつけた名称を見ると、「はっけんカード」「かんさつカード」「オクラカード」「きせつカード」「JCBカード」など、

いろいろだ。気温や天気を記入する欄もある。天気は記号(○◎●など)で記入する。問題は気温である。気温は是非とも記録させたいので、この欄を設けたのだが、観察するたびに「先生、気温何度ですか〜?」とくる。家庭学習では、気温欄が空欄になってしまう。



このような、キーホルダー型の、携帯用温度計もある。しかし、目盛りが5℃刻みで、子どもには読み取りが難しい。乱暴に扱うと、液切れも起こす。しかも1個1000円近くするので、ちょっと手が出ない。



そこで探し出したのが、この「温度計付きカードルーペ」である。パスモと同じ大きさの薄いカードに、液晶温度計が貼付されている。温度は2℃刻みで、実気温が数字で表示される。8℃~34℃まで測定できるので、東京ではほぼ一年中使えるだろう。上の写真では、24・26・28の3つが表示されている。肉眼で見ると、24と28は薄く見える。この場合は、26℃と測定できる。なかなか便利だ。(つづく)